



増加傾向にある前立腺がん



佐藤理美 議員

がん検診の受診率向上策は

検査機関と連絡を密にしつつ、啓発に努めます

問 総務省はこのほど、がん検診を行っている市町村に配分する2009年度の地方交付税措置を、649億円から1,298億年に倍増することを決定しました。

がん検診事業を支援する交付税の大幅増額は初めてです。「がん対策基本計画」では、受診率の目標を「5年以内に50%以上」としていますが、受診率向上についての考えを伺います。

答 検査機関と連絡調整を密にして、受診しやすい環境を検討するとともに、今後も受診率向上のため、啓発に努めていきます。

問 急速に進む高齢化や食生活の欧米化により、急激に増加しつつあるのが男性特有の前立腺がんです。すでに熊谷市や深谷市では、早期発見のため前立腺がん検診(P S A検査)を実施しています。この検診についての考えを伺います。

答 厚生労働省によると、P S A検査について、早期発見には有効であるものの、検診での早期発見による死亡率の減少効果は不明とのことです。

よって、現時点で集団検診として市町村や職場で実施することは勧められないとされているため、実施については考えていません。

ハローワーク

がん検診



原口 昇 議員

庁舎内にハローワーク求人票の“掲示”を

1階の総合案内に求人情報紙を置いています

問 100年に一度と言われる世界的な景気悪化に伴う経済情勢の変化により、企業の派遣切り、非正規労働者やパート等の削減など、雇用情勢が悪化して、昨年10月から急激に職を失う人が多くなったと言われています。

経済情勢好転の見通しが無い以上、職を失う人がさらに増えると考えられます。我が寄居町においても例外ではなく、町が率先して就職支援のための情報提供をすべきだと考え、その支援策について伺います。まず、庁舎内にハローワークの求人票を“掲示”する考えはありますか。

答 庁舎1階の総合案内及び町立図書館において、3カ所(熊谷・本庄・東松山)のハローワーク求人情報紙を自由に持ち帰れるよう設置しています。

問 町のホームページで求人情報の掲載はできないでしょうか。

答 ハローワークの求人情報を町のホームページに直接掲載はしていませんが、「ハローワークインターネットサービス」に接続しており、求人情報が検索できます。

問 失業者雇用対策として、臨時職員を採用する考えがあるか伺います。

答 臨時職員の登録募集は、広報紙等を通じて行っており、各課で必要に応じて登録者の中から採用します。特に「失業者雇用対策」としての臨時職員の採用は考えていません。

▼その他の質問
・生活保護申請について



庁舎1階総合案内においてあります



大正池付近に設置されている簡易トイレ



本間登志子 議員

ハイキングコースにトイレと駐車場の設置を

新たな整備計画はありません

問 鐘撞堂山へ向かうメインの登り口は、上組の大正池からです。子どもたちの遠足をはじめ、たくさんの観光客が季節を問わず訪れていますが、道中利用できるトイレは簡易トイレのみで、一番困った問題です。今どき、どこの観光地でも手も洗えない、水もない場所はありません。多くのハイカー(特に女性)のためにも、観光トイレの設置、駐車場の整備等をお願いしたいが、いかがですか。

答 年間を通してハイカーが訪れる大正池を経由するコースは、寄居駅から短時間で登れることから利用客が多いようです。トイレについては、寄居駅北口観光トイレ及び大正池簡易トイレを設置しており、新たな整備計画はありません。また、駐車場の整備計画もありません。

問 自然環境保全の観点から、沢に投げ込まれている丸太、小枝、ごみ等の撤去に取り組んでほしいが、その考えはありますか。

答 ハイキングコース沿いなど、今後も景観と通行に支障がないよう、整備に努めていきます。

問 鐘撞堂山の名前のとおり、小さいものでいいと思いますが、鐘を取りつけることで観光発展につながると考えます。いかがですか。

答 バードウォッチングや静けさを求めて訪れるハイカーも多いため、鳴り物の設置は考えていません。

▼その他の質問
・ごみ収集の問題について
・空地の有効活用について

📄 **プレミアム商品券**
商工会等が発行する地域商品券に一定の上乗せ分(プレミアム)がついているもの

プレミアム商品券 観光トイレ



佐野千賀子 議員

プレミアム商品券を発行して

考えていません。他事業への支援をする考えです

問 100年に一度の大不況という中「定額給付金」「子育て応援特別手当」「高速道路料金の引き下げ」と、まさに寒風を吹き飛ばす“春を呼ぶ3点セット”がいよいよ実現。公明党議員団として2月4日に「定額給付金及び子育て応援特別手当支給に係る要望書」を町長に提出。そこで、早期給付に向けた臨時雇用体制と事業の迅速化・円滑化、また地域活性化のため商工会とタイアップしてのプレミアム商品券等の取り組みへの考えを伺います。

答 定額給付金については、4月初旬に申請書を送付、中旬から受付を開始する予定です。現在手続のための作業や調整等を行っています。臨時職員を3名ほど活用し、1日も早い給付に向けて努力するつもりです。なお、プレミアム商品券の発行は考えていません。

問 今回の給付は不況のあおりを受けている生活者に対する緊急支援策で、国は上乗せ事業に取り組む自治体への支援として「地域活性化対策臨時交付金」(約8,000万円)を活用できるとしましたが、寄居町は別の事業で申請したとのこと。近隣の自治体でも大半が上乗せ事業に取り組む中、町民の大変さや活性化に対する危機感が、町にはなさすぎるのではないのでしょうか。町の活性化のため、プレミアム商品券等の取り組みをすべきだと考えますが、いかがですか。

答 寄居町チャレンジ資金利子補助事業の制度化等により商工業の支援を考えているので、プレミアム商品券については考えていません。

▼その他の質問
・「子育て応援特別手当」の取り組みについて
・「子ども医療費無料化」の拡充について
・小中学校に加湿器を設置する取り組みについて

手続きが始まった「定額給付金」「子育て応援特別手当」



町政を問う！ 一般質問

質問者本人が要約して原稿を書いています